

令和6年度シラバス

言語文化

教科	国語	単位数	3	学科・学年	全学科・1年
使用教科書	新編言語文化（東京書籍）				
副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・「新編言語文化 学習課題ノート」（東京書籍） ・「常用漢字の1・2トライ」（浜島書店） ・「新訂総合国語便覧」・「新訂総合国語便覧 準拠ノート」（第一学習社） ・「総合国語へのアプローチ」 ・教科担任によるプリント 				

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指します。

2 科目の特色

教科書の文章を通して、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにします。
また、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養います。

3 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む）

	学習内容	主な学習活動（指導内容）
一学期	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆「さくらさくらさくら」 ・小説「とんかつ」 ・古文「児のそら寝」 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取る。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解する。
二学期	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文「格言」「五十歩百歩」「借虎威」 ・詩「冬が来た」「I was born」 ・小説「羅生門」 ・古文（随筆）「徒然草」 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読のきまりを理解し、漢文の表現の特色を知る。 ・比喻とリフレーンの効果を理解して詩を読み味わい、作者のものの感じ方について考える。 ・登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考える。 ・随筆に表れた作者の考えを叙述を基に的確に捉える。
三学期	<ul style="list-style-type: none"> ・小説「デューク」 ・古文（詩歌）「折々のうた」 ・唐詩「春暁」「峨眉山月歌」 	<ul style="list-style-type: none"> ・主人公の心情の変化を読み取り、細かい表現に注意して話の展開を捉える。 ・詩歌に表れたものの見方、感じ方を捉えて、内容を解釈する。 ・漢詩とそれを踏まえた古文を読み、漢文が日本文学に与えた影響について知る。

4 課題、提出物等

- ・授業ノートや課題プリントの提出があります。時期はその都度指示します。
- ・長期休暇には宿題があります。
- ・その他、教科担任の指示による課題の提出があります。

5 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
定期考査や課題考査の結果等を総合的に評価します。	定期考査や提出物の内容で評価します。	提出物や授業態度で評価します。

令和6年度シラバス

文学国語

教科	国語	単位数	2	学科・学年	全学科・2年
使用教科書	新編 文学国語（大修館）				
副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・「新編 文学国語 学習ノート」（大修館） ・「常用漢字の1・2トライ」（浜島書店） ・「新訂総合国語便覧」・「新訂総合国語便覧 準拠ノート」（第一学習社） ・「パーフェクト演習」（尚文出版） ・教科担任によるプリント 				

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を養います。

2 科目の特色

教科書の文章を通して、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができますようにします。
また、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにします。生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養います。

3 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む）

	学習内容	主な学習活動（指導内容）
一学期	<ul style="list-style-type: none"> ・随想「少なくとも最後まで歩かなかった」 ・小説「その日東京駅五時二十五分発」 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の要点を把握し、筆者の考えと比較しながら自分の生き方について考えを深める。 ・心情や情景描写に注意して読み、登場人物の考え方や生き方を読み取る。
二学期	<ul style="list-style-type: none"> ・小説「ナイン」 ・古文「伊勢物語」 ・詩歌「永訣の朝」 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面設定の仕方を通して登場人物の心情を考える。 ・登場人物の行動から心情を読み取り、作品を通して平安時代の人々の生き方や考え方を知る。 ・詩のさまざまな表現とその効果について考える。
三学期	<ul style="list-style-type: none"> ・小説「山月記」 ・古文「方丈記」 	<ul style="list-style-type: none"> ・小説の展開の面白さを理解する。主人公の生き方や運命について考える。 ・作品に表れている作者の考え方をとらえる。

4 課題、提出物等

- ・授業ノートや課題プリントの提出があります。時期はその都度指示します。
- ・長期休暇には宿題があります。
- ・その他、教科担任の指示による課題の提出があります。

5 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
定期考査や課題考査の結果等を総合的に評価します。	定期考査や提出物の内容で評価します。	提出物や授業態度で評価します。

令和6年度シラバス

文学国語

教科	国語	単位数	2	学科・学年	全学科・3年
使用教科書	新編 文学国語（大修館）				
副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・「新編 文学国語 学習ノート」（大修館） ・「常用漢字の1・2トライ」（浜島書店） ・「新訂総合国語便覧」・「新訂総合国語便覧 準拠ノート」（第一学習社） ・「パーフェクト演習」（尚文出版） ・教科担任によるプリント 				

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を養います。

2 科目の特色

教科書の文章を通して、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができますようにします。
また、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができますようにします。生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養います。

3 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む）

	学習内容	主な学習活動（指導内容）
一学期	<ul style="list-style-type: none"> ・随想「飛ぶことを知っている塊」 ・小説「おぼろ月」 ・表現「志望動機・自己PRを書く」 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に描かれた心情や情景を読み味わい、表現の多様性やおもしろさについて考える。 ・時代特有の風俗や習慣に目を向け、現代とのつながりを考え、巧みな情景描写の魅力を知る。 ・自分の進路を考え、調査した上で、志望動機を書く。
二学期	<ul style="list-style-type: none"> ・古文「源氏物語」 ・随想「共感と驚異」 ・表現「面接を受ける・敬語」 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の設定や描写の仕方をとらえて物語を読み深めることで、物語を読むおもしろさを知る。 ・引用された作品と筆者の主張との関係を考えることで、本文の解釈を深める。 ・正しい敬語を身につけ、様々な場面で活用できるようにする。
三学期	<ul style="list-style-type: none"> ・小説「こころ」 ・漢文「史記」 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の推移や心情の変化に注意しながら作品を読み深め、自分なりの観点から作品の意義を考える。 ・言動や漢詩に込められた心情を表現に即して読み取り、日本文化における漢文の位置づけを理解する。

4 課題、提出物等

- ・授業ノートや課題プリントの提出があります。時期はその都度指示します。
- ・長期休暇には宿題があります。
- ・その他、教科担任の指示による課題の提出があります。

5 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
定期考査や課題考査の結果等を総合的に評価します。	定期考査や提出物の内容で評価します。	提出物や授業態度で評価します。